

岡崎市議会議長 様

支出番号	3
------	---

会派名 自民清風会
代表者名 磯部 亮次

下記のとおり、政務活動を実施したので報告します。

政 務 活 動 報 告 書

令和7年5月23日提出

活動年月日	令和7年5月19日（月）～20日（火）		
氏名	金山直樹		
用務先 及び 内 容	1 5月19日	用務先	全国市町村国際文化研修所（大津市）
		内 容	令和7年度市町村議会議員研修 [2日間コース] 「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査」
	2 5月20日	用務先	全国市町村国際文化研修所（大津市）
		内 容	令和7年度市町村議会議員研修 [2日間コース] 「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査」
	3 月 日	用務先	
		内 容	
	4 月 日	用務先	
		内 容	
備 考			

政務活動視察報告書

視察日程	： 5月19日、20日（2日間）
視察内容	： 自治体決算の基本と実践 受講
視察者	： 金山直樹

1. 研修概要

2025年5月19日～20日の2日間にわたり、自治体決算の基本と実践に関する研修を受講しました。研修では、地方議員として必要な基礎知識を習得し、今後の岡崎市政における決算数値を確認、判断する視点、数値からの課題抽出および次年度の提言・提案に活かすことを目的に受講。研修は、以下の3つのテーマ

1. 自治体決算の意義と審査のポイント
2. 自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～
3. 議会と行政評価の関係について



2. 研修内容と今後の活用

① 自治体決算の意義と審査のポイント

内容要旨：

地方公共団体（官庁会計）と民間企業（企業会計）の相違点を中心に理解を進めた。作成の目的は、官庁会計は、住民の福祉の増進であり、企業会計の利益の追求とは、大きく異なる。

また、官庁会計は、単式簿記の現金主義会計であることが、大きな違いであり、予算を把握、判断する上で、思考を変えて確認する必要がある。

決算を用いた財政診断に繋げていくことも必要であり、出資法人等の経営状況や財務4表（公会計）を活用することが可能である。

視点としては、実質収支、実質収支比率、単年度収支、実質単年度収支の数値で実績を把握する。

その他、財政力指数、経常収支比率、健全化判断比率、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率など視点、切り口で判断材料とすることが可能である。

今後の活用：

岡崎市は、全国でも数少ない財政力指数 1.0 以上の非交付団体(全国で 54 団体)である。ただ、決算から確認することが出来る比率、収支を活用することで、多角的な視点で、過去、現在、未来の視点で、現時点で考えられる課題を抽出していく。10 月に確定する決算を踏まえ、翌年度予算にどのように反映されているのかを確認していくことに役立てます。

② 行政評価を活用した決算審査

内容要旨：

行政評価の基本は、議会評価による位置づけが要点となる。説明責任の徹底、行政の質や効率性の向上・成果重視を求めていく事が必要。視点としては、事務事業・施策・政策を必要性・効率性・有効性で評価、判断していく。

政策評価の観点として、目的⇒政策⇒効果を必要性、有効性、効率性で判断する。その際、意識すべきは、①地方創生総合戦略における重要業績評価指標②地方創生 2.0 の「基本的な考え方」③新しい地方経済・生活環境創生交付金など様々な国政における基本方針を念頭に、視点の切り口として意識する必要がある。

今後の活用：

実績を様々な評価軸を柔軟に取り入れ、フラットな視点で行政の事務事業、施策、政策を確認していくことで役立てたい。

3. 総括

今回の研修を通じて、地方公共団体と民間企業の違いが理解できた。市民の方の多くは、民間企業の方が多く、地方自治体の施策、政策に対する予算、費用的な裏付けや取り組みの説明をする際に活用し、市民の方への説明責任に役立てていく。

また、市議の役割として、当初予算、補正予算、決算において、今内容の視点で執行部の意向や取り組み状況、結果を確認、審査していく視点で取り組む。必要に応じて、疑義を感じる点において、関係者への聞き取りなどを行う視点として、役立てていく。